

## 倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和3年12月16日(木) 15:00 ~ 15:30
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、長嶋医師、事務部長、看護部長、  
薬剤科長、矢崎外部委員、山岡外部委員

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

### 4. 要旨

課題名 精神疾患患者における圧感覚と時間感覚の関係  
(申請者 精神科医長 是木明宏(新規))

【申請者】～審査申請書に沿って説明～

【委員】健常者も対象に入れるのか。

【申請者】そうだ。ポスター等で募集を行う。

【委員】共同研究ではないのか。

【申請者】共同研究ではない。

【委員】健常者は主に職員となることが多いのか。外の健常者という想定はあるのか。

【申請者】想定という意味ではほぼないが、そこは制限していないので、外から来てもらって構わないが、増えすぎてもコロナの関係もあり、あまり望ましくないかと思うので、うまくやっていきたい。また、患者の家族となると遺伝的な問題もあるので、それとは別でと思っている。

【委員】リクルート会社は入れるのか。

【申請者】今のところは入れない予定である。

【委員】健常というのは、糖尿病等はダメなのか。

【申請者】精神的に健常、ということである。

【委員】糖尿病だと感覚が鈍かったりしないのか。

【申請者】そういったこともあるので、既往歴として把握しておくことになる。完全に健常というと、なかなか難しいところもある。

【委員】評価項目で PANSS や GAF があるが、これも精神的に健常な方にも実施するのか。

【申請者】しない予定で考えている。資料が抜けているので、修正する。

【委員】年齢が 20～65 歳となっているが、どこかに偏ってしまうとデータに問題はないのか。

【申請者】似たような研究でやると大体 40 歳くらいになる。年齢性別をマッチ

させて健常者を集めることになると思う。

【委員】科研費が獲れているのか。

【申請者】獲れている。

【審査結果】

課題名「精神疾患患者における圧感覚と時間感覚の関係」

上記に申請について、研究計画書で評価項目等の不足箇所を修正したうえで承認ということによろしいか。

→ 一部修正の上、承認とする。

課題名 反復性逸脱行動に対する条件反射制御法の適用に関する研究  
(申請者 薬物依存治療部長 平井慎二(新規))

【申請者】～審査申請書に沿って説明～

【委員】これまでの研究だと5年経過した時点の再犯率が20.7%ということがわかっているようだが、今回の主要な評価項目としては2年間としているのはなぜか。

【申請者】自分のNHO在籍期限の問題があるが、解決できればもっとしっかりでやるつもりである。

【委員】薬物とか行動化というのは、捕まって分かるものと捕まってないのにやっているというものについて、こういった類いの研究では加味されると思うが、こういった基準で考えるのか参考までに聞きたい。

【申請者】捕まっているものとしては、過去には研究グループに保護観察官を加えて法務省のデータを使って比較できた。捕まってないものとしては、例えば覚醒剤であれば通報義務はないと考えて、こちらから積極的に通報しない体制で患者を来やすくする。来やすくして病気を治すということをやっている。

【委員】性的逸脱行為が再発したというのは誰が決めるのか。

【申請者】患者から聞くしかない。

【委員】そのあたりの判断は平井先生や長谷川先生しかないということか。

【申請者】限界はある。

【委員】どの位になったら性的逸脱かというのも、主治医が判断するのか。

【申請者】行動化から判断となるが、なかなか定義が難しいので気をつける。

【委員】論文化するときに定義を書いておかないと査読者から指摘があると思う。

【申請者】承知した。

【委員】対象者は条件反射制御法を実施している患者や通院している患者なのか。

【申請者】これから来る患者も対象にしている。

【委員】治療法は日々変化しているのか。

【申請者】基本的には同じである。

【委員】ほっとステーションの患者も対象とするのか。

【申請者】そうだ。向こうは入院ではないので差違はあるが、デイケアをもって丁寧に行っている。

【委員】ほっとステーションでも何らかの倫理委員会に諮っているのか。

【申請者】ほっとステーションに設置されている倫理委員会に諮っているが、結果はまだ出ていない。

【委員】今の倫理指針では原則、主たる研究者のいる施設で倫理委員会に諮ることになっている。

【委員】2カ所で諮ってはダメなのか。

【委員】ダメではないが、それぞれの委員会で結果が異なったときにどうするかという問題はある。

【委員】オプトアウトの書類で連絡先が薬物依存治療部となっており、患者の説明文書ではPSWの連絡先が書いてある。

【申請者】PSWで統一する。

#### 【審査結果】

課題名「反復性逸脱行動に対する条件反射制御法の適用に関する研究」

上記に申請について、連絡先を統一するよう修正したうえで承認ということによろしいか。

→ 一部修正の上、承認とする。

以 上